

第16回表示・起源分析技術研究懇談会講演会
食品の原料原産地表示について考える
～EUの取り組みと日本の現状・課題～

主催 日本分析化学会 表示・起源分析技術研究懇談会

【日時】 **2017年3月10日(金) 13:00～**

【場所】 **東京電機大学・東京千住キャンパス**

2号館9階 2904教室

東京都足立区千住旭町5 北千住駅東口(電大口) 徒歩1分

【プログラム】

13:00-13:10 開会のあいさつ

13:10-15:10 講演1

加工食品の原料原産地表示制度の検討動向について
池戸重信先生

宮城大学 名誉教授

消費者庁・農林水産省「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」委員(座長代理)

15:10-15:20 休憩(10分)

15:20-16:20 講演2

行政支援のための産地判別技術 -現状と課題-
小林郁雄先生

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター(FAMIC) 表示監視部長

16:20-17:20 講演3

ヨーロッパにおける多元素安定同位体による産地判別技術
吉竹政子先生

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社 食品分析ASMグループ

17:20-17:30 閉会のあいさつ

18:00-20:00 懇親会

【参加費】

講演会参加費(含要旨代): **会員 無料**, **非会員 2,000円**, **学生 無料**

懇親会参加費: 一般 3,000円, 学生 無料

【申込方法】 締切: 2017年2月24日(金)

第16回講演会申込書(MS Excel ファイル)を研究懇談会HPからダウンロードして、必要事項をご記入後メールに添付、表題を「**表示起源第16回講演会申込**」とし、**hyoji.kigen@gmail.com(表示・起源分析技術研究懇談会事務局宛)**へ送信願います。